

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



雄武高等学校教諭

よしおか なおや 吉岡 直哉 さん (緑町)

「父親と同じ職業に憧れました」
 そう話す吉岡さんは、昨年4月から雄武高等学校に着任され、今年度は1学年の担任として勤務しています。

教諭として同じく教壇に立っていた父親について伺うと「父は生徒のためにいくらでも時間を割く熱い人でした」と当時の様子を教えてくださいました。その背中を見てきた吉岡さんは、教育について「生徒の中には、高校からでは何かを始めるには遅いと思う人もいますが、私はそうは思いません。高校からでも頑張れば何にだってなれるということ伝えていきたいです」「高校生の時に頑張っておけばよかった、まだまだやれることがあったはずだと思つことがありますが、私は今になって後悔していませんが、生徒には今のうちに気付いてほしいし、少しでもこの時期の頑

張りを進路につなげてもらいたい」と思いを語ります。

授業では、「生徒がノートを取るだけでなく生徒参加型の内容になるように心がけています」と試行錯誤しているそうです。「万人に合う指導法を、というのはなかなか難しいと思うのですが、生徒に合った指導をできる教諭になれるよう、経験を積んでいきたいです」

雄武高校については「年々、生徒数が少なくなってきました。生徒の減少は町から高校がなくなることにもつながりかねないので、すごく寂しいことです。教諭は生徒一人ひとりのことを考えています。町を盛り上げるためにも、進路に迷ったときにはぜひ、地元の雄武高校に進学していただきたいと思います。新任として赴任してきた私をあたたく迎えてくれた地域の方々に、教諭として少しでも生徒の力になれるように頑張りたいです」と熱く語る姿が印象的でした。

雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかがげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼気付けば9月も終わり、10月になりましたね。夜風が冷たく私の家ではとうとう暖房をつけてしまいました。これからどんどん寒くなっていくかと思うと憂鬱な気もしますが、秋は食べ物も美味しい季節です。冬へ向けてたくさん美味しい物を食べて体力を蓄えたいと思います。(大辻)

◆編集後記

Editor's note

▼9月は災害続きでした。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。特に突然の停電には頭を抱えましたが、復旧に尽力してくれる各事業所はもちろん、停電の中で営業してくれるお店もあり、本当にありがとうございました。停電中も生活を支えてくれた方々に感謝です。(内宮)